



復興へ向けたメッセージ



岩手は必ず復興を果たします。
引き続きのご支援、ご協力をお願いいたします。

岩 手 県

令和元年 6 月

目 次

1. 岩手県知事メッセージ	1
2. 市町村長からのメッセージと概況	
(1) 宮古市	2
(2) 大船渡市	4
(3) 陸前高田市	6
(4) 釜石市	8
(5) 大槌町	10
(6) 山田町	12
(7) 田野畑村	14

釜石鵜住居復興（かまいしうのすまいふっこう）スタジアム

釜石鵜住居復興スタジアム（釜石市鵜住居地区）はラグビーワールドカップ2019™日本大会の会場の一つです。同地区は、東日本大震災津波の際に鵜住居小学校や釜石東中学校の児童生徒による避難行動で、防災を象徴する場所として広く注目されました。

同小中学校の跡地に整備されたこのスタジアムは震災の記憶と防災の知恵を伝えるものでもあります。

2018年8月に開催された釜石鵜住居復興スタジアムオープニングDAYでは、釜石高校の生徒が「釜石は、世界とつながる。釜石のために支援をしてくれた世界中の人たちに感謝の思いを伝える。」と力強くキックオフ宣言を行いました。



岩手県復興局「いわて復興だより」第141号より



三陸復興



東日本大震災津波からの復興に当たっては、発災直後から様々な御支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

また、被災市町村の復興事業推進のため、行財政改革の推進など厳しい環境の中にも関わらず、職員派遣について御協力をいただき、感謝申し上げます。

さて、被災市町村においては、一日も早い復興を実現するため全力を挙げ取り組んでいるところですが、復興事業の総仕上げに向け、被災地の復興を力強く推進していくためには、専門的知識を有する人材の確保が不可欠となっております。

岩手県及び被災市町村では、任期付職員の採用やOB職員の活用など自らも努力しておりますが、こうした取組だけでは必要な人材の確保が難しく、また、事業の円滑な推進のためには、行政経験豊かな皆様方のお力をお借りすることが必要となっております。

つきましては、こうした状況を御理解いただき、被災市町村への職員派遣について、引き続き御協力を賜りたくお願い申し上げます。

岩手県知事

達増拓也

宮古市

宮古市長からのメッセージ

東日本大震災後、たくさんの方々からご支援ご協力をいただきながら、「必ずや復興を成し遂げる」この強い思いを胸に、復興への歩みを進めております。

引き続き、活気と笑顔あふれる『「森・川・海」とひとが共生するやすらぎのまち』の実現のため、市民とともに未来を切り開くまちづくり「宮古創生」に全力で取り組んで参ります。

今後もご支援賜りますようお願い申し上げます。



宮古市長
山本正徳

1 宮古市の概要

平成17年6月6日に旧宮古市・旧田老町・旧新里村による新設合併、平成22年1月1日に旧川井村との編入合併を経て、現在の新宮古市が誕生しました。

当市は、岩手県沿岸部のほぼ中央、本州では最東端に位置しています。人口は約56,000人、約1,260km²もの広大な面積を有し、三陸復興国立公園と早池峰国立公園とを閉伊川が結ぶ、自然環境に恵まれた地域です。

2 復興状況

東日本大震災からの復興計画は、9年間の最終年度を迎えます。復興計画に掲げた多くの事業は概成しております。震災以前よりも活力があり、魅力あふれるまちとして発展するための取り組みを行う復興事業の総仕上げの年として、引き続き「すまいと暮らしの再建」をはじめ、「産業・経済復興」、「安全な地域づくり」の3つの柱に基づき、復興の取り組みを進めてまいります。

昨年6月には、岩手県初となる定期フェリーが当市と北海道室蘭市を結ぶ「宮蘭航路」として就航いたしました。また、10月には、市民サービスと賑わいの拠点が交通の結節点として、中心市街地拠点施設「イーストピアみやこ」が完成、オープンいたしました。

本年3月には、三陸鉄道南北リアス線とJR山田線宮古・釜石間がつながり、新たに「リアス線」として三陸鉄道により一貫運行され、新たなまちの姿が見えてきたところです。

3 応援職員のメンタルヘルスケアに係る取組

全職員を対象に、チェックリストによるメンタルヘルス状況の確認（年度2回）と、チェックリスト結果により専門医との個別カウンセリングを実施しています。

その他、心の健康相談会、メンタルヘルス講習会、災害派遣職員メンタルヘルス研修会への参加を斡旋するとともに、応援職員には県市町村課で常設した「日常的な相談窓口」について周知しています。

4 住居、周辺環境

(1) 住居

種類	一般的な間取り	勤務地からの距離	家財道具調達要否	入居費の負担
民間アパート	2DK、1LDK	1.7Km	要	なし
ホテル	シングル(12m ²)	1.0Km	不要	なし

(2) 周辺環境

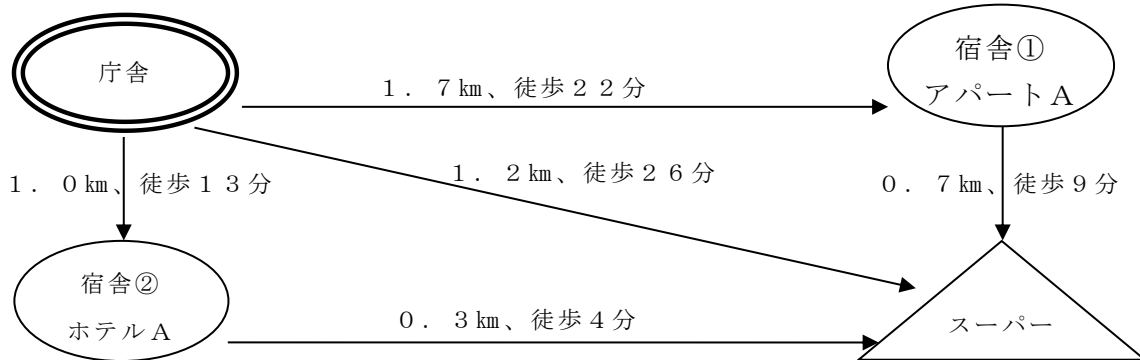
種類	位置	営業時間	備考
スーパーマーケット	市役所から約1.1km(車で4分)	10:00~21:00	
ホームセンター	市役所から約2.5km(車で6分)	10:00~21:00	
コンビニエンスストア	市役所から約0.4km(徒歩3分)	24時間	
金融機関(ATM)	市役所・敷地内	09:00~19:00	
病院(県立宮古病院)	市役所から約5.0km(車で13分)		

(3) 待遇（手当等）

種類	受入市町村支給可否	支給額（又は支給率）
赴任旅費	可	（例）東京 156,150 円【単身】
単身赴任手当	支給実績なし	
災害派遣手当	可	1 日 3,970 円（公舎扱い）
通勤手当	可	（例）交通用具使用者 2 km 以上 4 km 未満 2,100 円
帰省旅費	可	往復交通費相当額を補助
寒冷地手当	不可	
帰任旅費	可	（例）大阪 171,670 円【単身】

5 勤務地と住居等との位置関係

応援職員の方々の住居は、本庁舎から 2 km 以内に確保するように努めています。



6 写真（復興の状況、応援職員の勤務の様子等）



【左上】
宮古市と北海道室蘭市を結ぶ
「宮蘭フェリー」第 1 便就航
（平成 30 年 6 月）

【右上】
市民サービスと販わいの拠点が
交通の結節点に完成
「イーストピアみやこ（宮古駅周辺）」
（平成 30 年 10 月）

【左下】
「三陸鉄道リアス線」として一貫
運行を始めたリアス線第 1 便運航
（平成 31 年 3 月）

大船渡市

大船渡市長からのメッセージ

東日本大震災では、国内外の皆様から温かい励ましと力強いご支援を賜りましたことに、厚く御礼申し上げます。

最優先課題としてきた「被災者の住宅の再建」については、高台への住宅移転事業等が平成30年度にすべて完了しました。

約260の復興事業のうち、残り2割弱の事業推進に全力を傾注し、市民の皆様が安心して暮らせるまちづくりに取り組んで参りますので、変わらぬご支援をお願い申し上げます。



大船渡市長
戸田 公明

1 大船渡市の概要

大船渡市は、岩手県の沿岸南部に位置し、人口は約36,200人のまちです。沿岸部はリアス式海岸の地形で、大船渡港は天然の良港として栄え、世界三大漁場の三陸沖からの豊富な水揚げによる水産業、客船が寄港する港湾事業、碁石海岸などの景勝地を有する観光業などを中心に、海を活かしたまちづくりに取り組んでいます。

2 復興状況

〔住宅の再建〕平成30年度末では高台への住宅移転、災害公営住宅整備の100%が完了
〔生業の再生〕新魚市場は平成26年4月に供用開始、中心市街地では土地地区画整理事業を導入し、都市型ホテル、大規模店舗等の民間施設が開業し賑わいを創出
〔市民の暮らし〕JR大船渡線はBRT（バス高速輸送システム）で本格復旧、三陸鉄道は平成26年4月に全線運行、イベント（秋刀魚まつり、産業まつり）も再開
〔実施中の事業〕大船渡駅周辺土地地区画整理事業（清算業務）、漁港施設復旧事業、防潮堤復旧事業、被災跡地の有効利用事業などの復興計画に登載した事業

3 応援職員のメンタルヘルスケアに係る取組

〔岩手県との連携〕

- (1) メンタルヘルスケア研修への参加（岩手県主催、盛岡市で開催、1泊2日）
- (2) フォローアップ面談（岩手県実施、個別面談等、年2回）

〔大船渡市が実施〕

- (1) 大船渡市保健室（産業医と専任の保健相談員が随時の相談に対応）
- (2) 健康状態確認面接（チェック票により保健相談員が面接、必要に応じ産業医面接）
- (3) 帰庁報告制度（当市の出張命令により帰庁して業務報告、年2回）
- (4) 帰省旅費支給制度（派遣元庁舎と帰省先が遠く離れる岩手県任期付職員を対象に自宅までの帰省旅費を支給、年4回）
- (5) 冬道運転講習会（教習所講師に依頼）

4 住居、待遇等

(1) 住居

種類	一般的な間取り	勤務地からの距離	家財道具調達	入居費の負担
民間アパート	1R(单身) 2LDK(家族同伴)	約2 Km	要	家賃は市、光熱水費は入居者

(2) 周辺環境

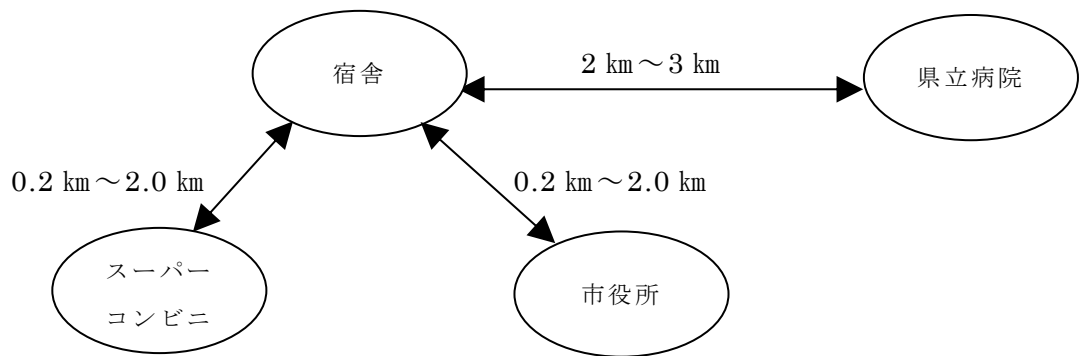
種類	位置	営業時間	備考
スーパーマーケット	市役所から2 km(車で5分)	9:30~21:30	
ホームセンター	市役所から2 km(車で5分)	7:00~21:00	
コンビニエンスストア	市役所から0.7 km(車で2分)	24時間	
金融機関(ATM)	市役所内	9:00~19:00	
病院	市役所から1.2 km(車で3分)	24時間(救急含む)	県立病院
食事ができる店	市役所から徒歩10分圏内	概ね11:30~21:00	

(3) 待遇（手当等）

種類	受入市町村支給可否	支給額（又は支給率）
赴任旅費	可	東京都から：約15万円、大阪府から：約18万円（各単身）
単身赴任手当	可	東京都から：5.4万円/月、大阪府から：7.6万円/月
災害派遣手当	可	滞在1日につき3,970円
通勤手当	可	通勤距離2km以上が支給対象、3kmで3,200円/月
時間外勤務手当	可	正規の勤務時間を超えて勤務した場合に支給
帰庁報告旅費	可	年2回（8月、12月又は翌年1月）、当市の出張命令
帰省旅費	可	年4回、市役所から自宅までの往復旅費
寒冷地手当	否	なし
帰任旅費	可	東京都から：約15万円、大阪府から：約18万円

備考 派遣形態により帰庁報告旅費と帰省旅費のいずれかが適用されます。

5 勤務地と住居等との位置関係



6 写真（復興の状況、応援職員の勤務の様子等）

復興が進んだ中心市街地



完成した高台移転地



被災跡地を活用した産業用地



地域行事に参加する派遣職員



陸前高田市

陸前高田市長からのメッセージ

震災から9年目を迎え、これまで全国の自治体等から応援職員の方々にお力添えをいただきながら、様々な復興工事が進められてきたことに対し、心より感謝申し上げます。

今後におきましても、子どもや高齢者、障がいのある方など、すべての市民が差別されることがなく、笑顔で暮らせる「ノーマライゼーションという言葉のいらぬまちづくり」の実現に向け、全国の皆様のお力をお貸しくさせていただきますよう、よろしくお願い申し上げます。



陸前高田市長
戸羽 太

1 陸前高田市の概要

陸前高田市は、岩手県南東部の太平洋沿岸に位置し、人口は19,062人（平成31年4月1日現在住民基本台帳）です。

気候は県内で最も温暖で、これまで基幹産業に位置付けている農林水産業、恵まれた自然環境を活かした観光産業などにより発展してまいりました。

東日本大震災では、市街地のほぼ全域が浸水し、市庁舎等を含む公共施設、商業・観光施設、住宅、交通網、行政機能などの社会的機能が壊滅的被害を受けました。

2 復興状況

被災市街地復興土地区画整理事業や防潮堤整備事業等の大型事業が進んでおり、令和元年度の一般会計予算（732億円）は震災前の約6.5倍と各種復興事業が佳境に差し掛かっています。

また、商業集積の核となる大型商業施設「アバッセたかた」や、体育館とプール施設を伴った総合交流センター（愛称：夢アリーナたかた）等により少しずつ賑わいを取り戻しつつありますが、今後も道の駅や市民文化会館等の大型施設のオープンが予定されており、さらに活気のあるまちづくりを進めていくため、皆様のお力添えが必要な状況です。

3 応援職員のメンタルヘルスケアに係る取組

「派遣職員に係る安全衛生・健康管理要領」を定め、派遣職員が健康かつ安心して業務を遂行できるように取り組んでいます。詳しい内容は次のとおりです。

- (1) 年4回の帰省
- (2) 偶数月での所属長との面談
- (3) カウンセラーとの面接
- (4) 年2回のストレスチェック
- (5) 職員何でも投書箱の設置

4 住居、待遇等

(1) 住居

種類	一般的な間取り	勤務地からの距離	家財道具調達要否	入居費の負担
仮設住宅	2DK	0.3～11.5Km	要（冷蔵庫、洗濯機、テレビは当市にて準備）	無
派遣職員用宿舎	2K	0.5Km		

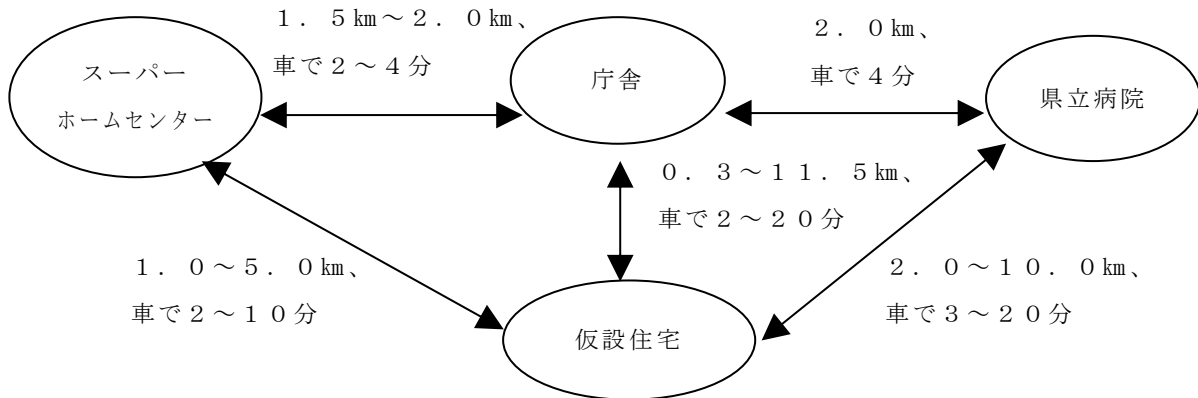
(2) 周辺環境

種類	位置	営業時間	備考
スーパーマーケット	市役所から2.0km（車で4分）	9:00～21:00	
ホームセンター	市役所から1.5km（車で2分）	8:00～19:00	
コンビニエンスストア	市役所の道路向い	24時間	市内各地にコンビニが有
金融機関	市役所から100m	9:00～15:00	市役所敷地内にもATM有
県立病院	市役所から2.0km（車で4分）	9:00～17:00	市役所近隣にも個人病院・歯科医院有

(3) 待遇（手当等）

種類	受入市町村支給可否	支給額（又は支給率）
赴任旅費	可	東京都からの場合：約 118,000 円
単身赴任手当	可	東京都からの場合：月約 54,000 円
災害派遣手当	可	公舎扱いの場合：日額 3,970 円
通勤手当	可	2km 以上～3km 未満：2,200 円
帰庁又は帰省旅費	可	往復に要する移動実費（年 4 回）
寒冷地手当	否	—
帰任旅費	可	東京都からの場合：約 122,000 円

5 勤務地と住居等との位置関係



6 写真（復興の状況、応援職員の勤務の様子等）

土地区画整理事業（中心市街地）



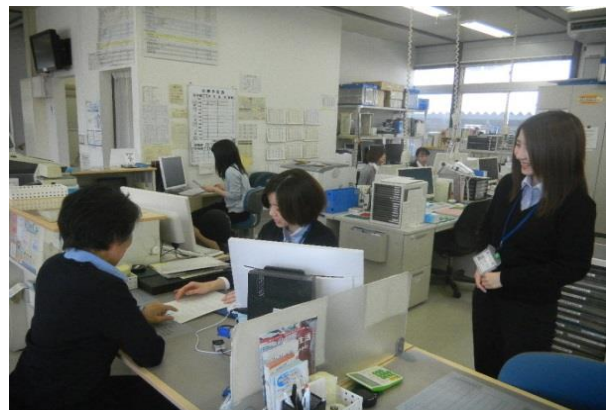
派遣職員用宿舎



大型商業施設（H29.4 オープン）



市役所窓口（1号棟1階）



釜石市

釜石市長からのメッセージ

全国の皆様には、発災直後からの物心両面にわたる御支援を賜り、改めて感謝を申し上げます。

私たちは、被災された方の最後の一人まで寄り添い、市民全員で復興を全国にお伝えしたいと思っております。復興の完遂まであと一息、東北に、岩手に目を向けていただき、寄り添い、お力添えをいただきたく切にお願いします。



釜石市長
野田 武則

1 釜石市の概要

釜石市は、岩手県の南東部、陸中海岸国立公園のほぼ中央に位置し、東は太平洋に、西は遠野市と住田町に、南は大船渡市に、北は大槌町にそれぞれ接しています。

市の総面積は 441.42 平方キロメートルで、市域は東西 29,552 メートル、南北 31,781 メートルに及んでいます。気候は、三陸沿岸に位置しているため、海洋の影響と地理的条件から四季を通じて温暖です。

わが国近代製鉄発祥の地として、また、三陸漁場の中心港として、「鉄と魚のまち」として発展してきました。(H30.3 末現在：世帯数 16,662 世帯、人口 34,240 人)

2 復興状況

■復興公営住宅の建設状況

全体整備予定数 1,316 戸 (完了)

■住宅の再建状況

- ・既に自力で住宅再建した世帯 (1,471 世帯) のうち、約 6 割強が被災前と異なるところに再建。
- ・被災前と異なるところに再建した世帯のうち約 4 割の世帯については、市外・県外に再建している状況。
- ・面整備事業の進捗に連動し、市内での住宅の自力再建が本格化してきている。

■事業所の再建状況

- ・約 2,400 事業所 (H21 経済センサス) のうち約 6 割が被災したが、各種支援制度により事業再生が進んでおり、約 1,900 事業所 (H26 経済センサス) に回復。

■雇用状況

- ・雇用者数は概ね震災前まで回復。
- ・震災特需により有効求人倍率は継続して 1 倍を超えているが、一方では特定業種のミスマッチが発生、U I ターンの推進など労働力の確保に取り組んでいる。

3 応援職員のメンタルヘルスケアに係る取組

職員の心身の健康管理につきましては、法律で義務付けられた健康診断のほか、必要に応じて検診・カウンセリング等を実施し、職員の健康状況の把握、早期治療を図るとともに、様々な健康管理事業等を活用しながら、職員の疾病予防、元気回復、健康の保持増進に努めています。

また、職員が産業医と相談できる職員相談日の設置や、産業医と職員の健康管理を所管している総務課が月に 1 回情報交換をする機会を設けるなど、産業医との連携を強化して取り組んでいます。

なお、応援職員のメンタルヘルスを充実させる一環として、当該職員に帰省旅費を支給するための関係条例を整備しています。

4 住居、待遇等

(1) 住居

種類	一般的な間取り	勤務地からの距離	家財道具調達要否	入居費の負担
民間アパート	2DK	5～8 Km	要	釜石市負担
ホテル	シングル	0.7 Km	否	釜石市負担
その他(下宿)	ワンルーム(洋室)	0.7 Km	否	釜石市負担
民間アパート	2DK	5～8 Km	要	釜石市負担

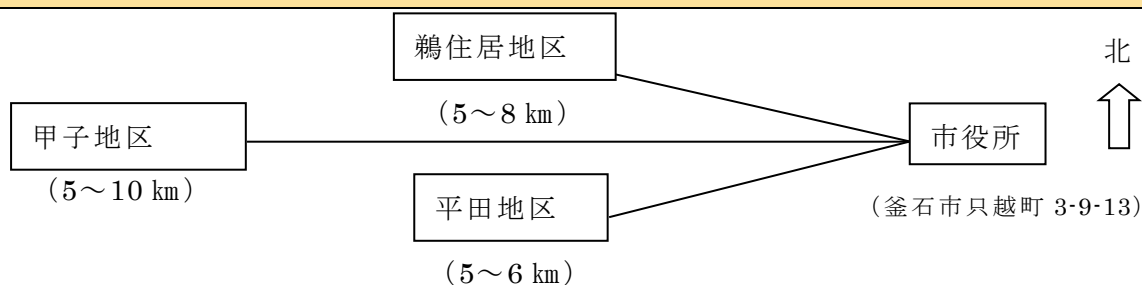
(2) 周辺環境

種類	位置	営業時間	備考
スーパーマーケット	市内に点在	9:00~21:00	
ホームセンター	市役所から3km程度	7:00~21:00	
コンビニエンスストア	市内に点在	24時間	
金融機関(ATM)	市内に点在		
病院	総合病院3院、個人医院は市内に点在		

(3) 待遇(手当等)

種類	受入市町村支給可否	支給額(又は支給率)
赴任旅費	可	東京都からの場合:約15万円、 大阪府からの場合:約20万円
単身赴任手当	可	約3万円/月
災害派遣手当	可	公舎扱い:3,970円、それ以外:5,140円
通勤手当	可	
帰省旅費	可	
寒冷地手当	可	派遣元の規定による
帰任旅費	可	赴任旅費と同じ

5 勤務地と住居等との位置関係



6 写真(復興の状況、応援職員の勤務の様子等)

復興推進本部事務室の様子



宅地造成は完了、自力再建の加速へ



住民に寄り添って事業を進捗させます



ラグビーW杯で世界に「感謝」を発信



大槌町

大槌町長からのメッセージ

東日本大震災以降、被災地の復興・復旧業務に当たっては、全国の皆様から物心両面にわたる多大なるご支援を頂き、改めて感謝申し上げます。

震災より8年が経過しますが、一日でも早い復興と被災された皆様の生活再建のため、応援職員の派遣につきまして、ご支援を賜りますようお願いいたします。



大槌町長
平野 公三

1 大槌町の概要

大槌町は、岩手県の太平洋に面した陸中海岸国立公園のほぼ中央に位置しています。豊かな自然に囲まれており、黒潮の暖流と親潮の寒流が交差する世界屈指の三陸沖の漁場を控え水産業を中心に農林業も盛んです。

人口は11,790人（H31.4.1現在）の郷土芸能・伝統芸能が盛んな町であり、秋の「大槌まつり」は例年賑わいを見せております。

2 復興状況

平成30年6月には、町の中心部に多目的ホールや図書館等を備えた複合施設「おしゃっち」がオープンしました。また平成31年3月には、三陸鉄道リアス線が開通する等、賑わい再生に向け、大きな一歩を踏み出しました。

災害公営住宅も、令和元年度を以て全ての建設が終了する見込みとなっており、各種復興事業の完遂に向け、全力を注ぐ1年となります。

3 応援職員の健康管理に係る取組

以下の取り組みを継続して実施しています。

- ① ストレスチェック 年2回（協力：岩手医科大学）
- ② 職員健康相談コーナー 週3回（協力：岩手医科大学）
- ③ 職員健康相談会 2月予定（体調面の相談も可能）
- ④ 派遣職員研修 岩手県こころのケアセンター保健師による講義
- ⑤ 長時間労働者に対する健康相談 3ヶ月に1回（上記②と連動）

対象：直近1ヶ月の超過勤務が80時間以上、3か月の平均が40時間以上

※ほか県市町村課「メンタルヘルス研修」への周知・参加

4 住居、待遇等

(1) 住居

種類	一般的な間取り	勤務地からの距離	家財道具調達要否	入居費の負担
仮設住宅	1DK、2DK	約6Km	要	無（光熱水費は自己負担）
民間アパート	1K	約3Km	一部要	

(2) 周辺環境

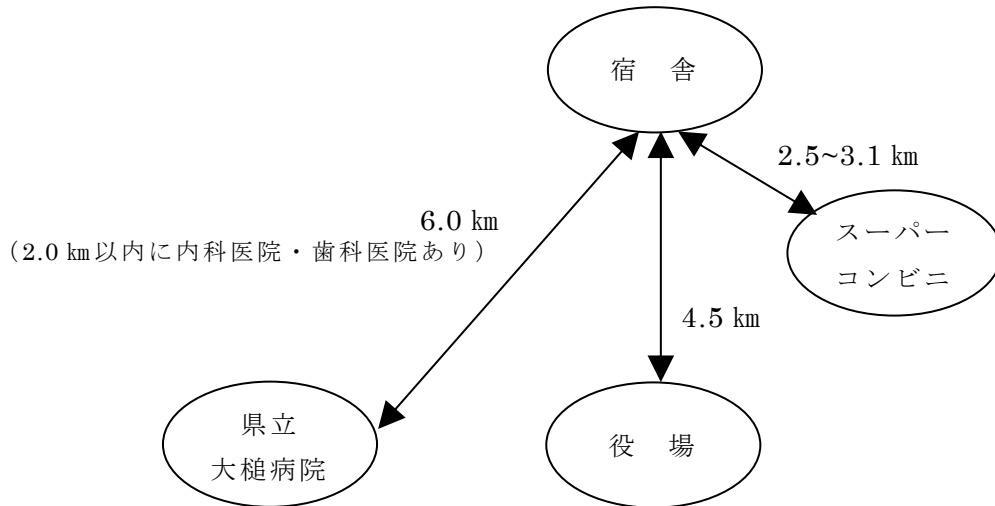
種類	位置	営業時間	備考
スーパーマーケット	役場から約500m	10:00～19:00	マスト
ホームセンター	役場から約500m	10:00～20:00	ホームマック
コンビニエンスストア	役場から約500m	24h	セブンイレブン他
金融機関（ATM）	役場から約500m	10:00～19:00	マスト内
病院（県立病院）	役場から約2km	外来8:30～13:00	県立大槌病院
病院（個人医院）	町内に点在（歯科3、内科3、小児内科2）		
その他（釜石市）	釜石市中心部	イオン（スーパー） ケーズデンキ（家電量販店）	

(3) 待遇（手当等）

種類	受入市町村支給可否	支給額（又は支給率）
赴任旅費	可（協定による）	東京都から：約150,000円、大阪府から：約200,000円
単身赴任手当	可（協定による）	東京都から：約41,000円、大阪府から：約58,000円

災害派遣手当	可（協定による）	滞在実績に応じ日額 3,970 円
通勤手当	可	2km～5 km：2,000 円、5km～10km：4,200 円
帰省旅費	-	帰郷・家族訪問旅費による
寒冷地手当	無	
帰任旅費	可（協定による）	
その他（帰郷・家族訪問旅費）	可	帰郷旅費：1 年派遣の場合、年 2 回 家族訪問旅費：1 年派遣の場合、家族 2 名の訪問が年 2 回可

5 勤務地と住居等との位置関係



6 写真（復興の状況、応援職員の勤務の様子等）

【大槌駅（H31.3.22 開通）】



【執務室】



【町の様子（城山公園から町方をパノラマ撮影）】



山田町

山田町長からのメッセージ

東日本大震災から8年余りの歳月が過ぎましたが、山田町においては復興計画で描いた新しい町の姿がはっきりと見え始めてまいりました。今年度は全国の自治体から27名の職員派遣をいただき、事業の推進に大きく貢献していただいているところであります。一日も早い復興完遂のため、今後も皆様方のお力をぜひお貸しくださるようよろしくお願いいたします。



山田町長
佐藤 信逸

1 山田町の概要

山田町は三陸復興国立公園のほぼ中央に位置し、人口は約1万6千人の町です。北上高地の山並みとリアス式海岸の自然美に恵まれた地で、冬の降雪は少なく、春、夏、秋と行楽には最適な気候です。天然の良港を生かした「カキ」や「ホタテ」などの養殖漁業が盛んであり、地域資源を生かした産業振興に取り組んでいます。

2 復興状況

復興を達成するまでの10年間を「復旧期」、「再生期」、「発展期」の3つの段階に分け、施策や事業を展開しております。平成30年度には災害公営住宅全戸の建設及び全ての宅地引渡しが完了し、また、中心市街地では新しい陸中山田駅が整備されるとともに三陸鉄道リアス線が開通し、より一層活気付くことが期待されております。今後は残りわずかとなる復興期間の中で、復興まちづくりの総仕上げに向けてまい進していくこととなります。

3 応援職員のメンタルヘルスケアに係る取組

家族や地元を離れての生活は心身ともに大きな負担となることから、メンタルヘルス事業には重点的に取り組んでいます。定期的に帰郷を命ずる「帰郷出張制度」は、家族のもとへ帰省することにより、心身のリフレッシュを図ってもらうのがねらいで、派遣期間に応じて年1～3回利用することが可能となっています。そのほか、心の健康状態を確認するためのメンタルヘルスチェックを年2回実施、臨床心理士による個別面談などのカウンセリング体制も整え、メンタルヘルスケアに対応しています。

4 住居、待遇等

(1) 住居

種類	一般的な間取り	勤務地からの距離	家財道具調達要否	入居費の負担
応急仮設住宅	2DK (6畳×2)	4.0km	否(家電製品等は配置済)	光熱水費

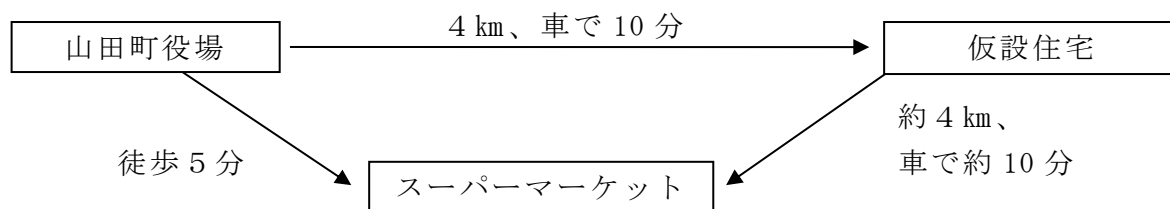
(2) 周辺環境

種類	位置	営業時間	備考
スーパーマーケット	役場庁舎から約0.3km	9:00～21:00	
ホームセンター	役場庁舎から約2.7km	9:00～19:00	
コンビニエンスストア	役場庁舎から約0.3km	24時間	
金融機関 (ATM)	役場庁舎から約0.5km	9:00～19:00	役場庁舎内にも有
病院 (県立山田病院)	役場庁舎から約1.0km	8:30～16:00(受付)	役場近隣に個人医院も有

(3) 待遇（手当等）

種類	受入市町村支給可否	支給額（又は支給率）
赴任旅費	否	派遣元で支給
単身赴任手当	可	派遣元の規定による
災害派遣手当	可	1日につき 3,970 円（公舎扱いの場合）
通勤手当	可	
帰省旅費	可	交通費と日当を支給（派遣期間）
寒冷地手当	否	支給対象外
帰任旅費		東京都（約 13 万円）

5 勤務地と住居等との位置関係



6 写真（復興の状況、応援職員の勤務の様子等）



役場庁舎の外観



スーパーや飲食店が立ち並ぶ商店街



カキやホタテなどの海産物が販売される「カキ祭り」



町の風物詩「山田祭り」



職場の様子



平成 31 年 3 月 23 日に開通した三陸鉄道リアス線

田野畑村

田野畑村長からのメッセージ

全国の皆様から物心両面にわたる温かいご支援を賜り、衷心より感謝申し上げます。

本村は「心をひとつに 未来に向けた復興」を基本理念とし、村民一丸となって復興事業を進めております。

今後とも、被災地へご支援賜りますようお願い申し上げます。



田野畑村長

石原 弘

1 田野畑村の概要

田野畑村は、岩手県沿岸北部に位置し、人口は約 3,500 人で漁業（天然あわび、ウニ、養殖わかめ、コンブ）及び酪農を主要産業としております。

沿岸部は三陸復興国立公園に指定されており、国内の海岸線で唯一特A級の評価を受けた景勝地「北山崎」や「鵜の巣断崖」があります。

2 復興状況

- ・ 今後は「生業の再生」が重点となる。
- ・ 当初の計画に比して、防潮堤、集落道整備、集落排水施設、水産施設等整備事業の進捗が遅れている。

3 応援職員のメンタルヘルスケアに係る取組

メンタルヘルスチェック、セミナー等を実施している。

4 住居、待遇等

(1) 住居

種類	一般的な間取り	勤務地からの距離	家財道具調達要否	入居費の負担
応援職員用宿舎	8畳、バス、トイレ、台所	1.9Km	テレビ、冷蔵庫、洗濯機は貸与可	光熱水費は村が負担

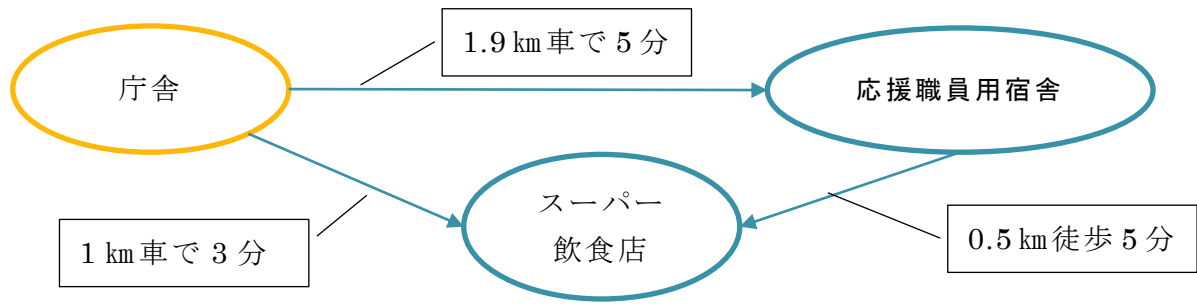
(2) 周辺環境

種類	位置	営業時間	備考
スーパーマーケット	役場から 1km (車で 3分)	9:00~21:00	村内
ホームセンター	役場から 14km (車で 20分)	9:00~21:00	岩泉町
コンビニエンスストア	役場から 14km (車で 20分)	24時間	岩泉町
金融機関 (ATM)	役場駐車場内	9:00~18:00	
病院	役場から 0.5km (車で 2分)	9:00~16:30	

(3) 待遇 (手当等)

種類	受入市町村支給可否	支給額 (又は支給率)
赴任旅費	可	岩手県規定準用
単身赴任手当	可	30,000円 + 加算
災害派遣手当	可	3,970円 (応援職員用宿舎の場合)
通勤手当	可	2,000円 ~ (2km以上)
帰省旅費	可	月1回交通費のみ支給
寒冷地手当	可	10,200円又は17,800円 (4級地)
帰任旅費	可	岩手県規定準用

5 勤務地と住居等との位置関係



6 写真（復興の状況、応援職員の勤務の様子等）

【田野畑村役場庁舎】



【羅賀地区災害復旧工事の状況】



【島越地区災害復旧工事の状況】



【明戸地区災害復旧工事の状況】



三陸復興



岩手県

この冊子は岩手県HP ↓からダウンロードできます。

<https://www.pref.iwate.jp/kensei/seisaku/shichouson/shinsai/1017934.html>

表紙写真：復興のシンボル「三陸鉄道」